

医中誌フリーキーワード：東海村

チェックタグ：ヒト；男

2001279034

Author：鈴木元(放射線影響研究所)

Title：急性放射線被曝と皮膚障害 JCO 臨界事故症例の初期治療

Source：日本熱傷学会機関誌(0285-113X)27巻2号 Page102(2001.06)

論文種類：会議録

シソーラス用語：治療；皮膚疾患；放射線障害；放射線事故；放射線被曝

チェックタグ：ヒト

2002124182

Author：守屋博子(水戸赤十字病院)，藤田けい子

Title：茨城県東海村臨界事故における救護活動

Source：日本災害看護学会会誌(1345-0204)3巻2号 Page44(2001.06)

論文種類：会議録

シソーラス用語：救急医療サービス；災害対策；放射線医学；放射線事故；放射線被曝(看護)

医中誌フリーキーワード：東海村

チェックタグ：ヒト

2002069169

Author：青木芳朗(原子力安全委員会)

Title：放射線事故と緊急被ばく医療 (株)JCO 臨界事故を経験して

Source：医療放射線防護(0918-5658)31号 Page13-18(2001.07)

論文種類：解説

シソーラス用語：核エネルギー；救急医療サービス；災害対策；放射線事故；放射線被曝

チェックタグ：ヒト

2002092593

Author：AkashiMakoto(放射線医学総合研究所)，HiramaToshiyasu，TanosakiSakae，KuroiwaNorikazu，NakagawaKenichi，TsujiHiroshi，KatoHirotohi，YamadaShigeru，KamataTadashi，KinugasaTatsuya，ArigaHisanori，MaekawaKazuhiko，SuzukiGen，TsujiHirohiko

Title：東海村の JCO 臨界事故における急性放射線症候群の初期症状(Initial Symptoms of Acute Radiation Syndrome in the JCO Criticality Accident in Tokai-mura)(英語)

Source : Journal of Radiation Research (0449-3060) 42 巻 Suppl. PageS157-S166 (2001. 09)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : 嘔吐; 下痢; 職業性曝露; 徴候と症状; 放射線障害; 放射線事故

医中誌フリーキーワード : 東海村

チェックタグ : ヒト

Abstract: 臨界事故により急性放射線症候群が起こった。作業員一人は数分以内に嘔吐が起こり、10~20 秒で意識を消失した。この人は曝露後 1 時間に下痢があった。他の作業員は曝露後殆ど 1 時間に吐き始めた。その時に症状がなかった監督者を含む作業員 3 人は国立水戸病院に救急車で運ばれた。体表面から γ 線が検出され、末梢血中リンパ球数減少の為に放射線医学総合研究所に転送された。前駆症状、リンパ球数の連続変化、染色体解析、及び ^{24}Na 放射能により 3 人の作業員は線量評価が行われた。治療的戦略決定上、前駆症状は重要である

2002092594

Author : Ishii Takeshi (東京大学 医系研究 救急医), Futami Satoru, Nishida Masamichi, Suzuki Toru, Sakamoto Tetsuya, Suzuki Norio, Maekawa Kazuhiko

Title : 東海村の臨界事故の簡潔なメモならびに急性放射線症候群の評価及び治療 (Brief Note and Evaluation of Acute-radiation Syndrome and Treatment of a Tokai-mura Criticality Accident Patient) (英語)

Source : Journal of Radiation Research (0449-3060) 42 巻 Suppl. PageS167-S182 (2001. 09)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : 徴候と症状; 放射線障害(治療); 放射線事故

医中誌フリーキーワード : 東海村

チェックタグ : ヒト

Abstract: 放射線の臨界線量に曝露された A 患者では体表面全体に皮膚病変、大量下痢及び顕著な出血を起こす胃腸障害、ならびに重症な体液喪失があった。感染は起こらないが、悪化腸粘膜による胃腸出血は大きい死因の一つと考えられた。最終的に呼吸・腎不全、皮膚浸出、胃腸出血、及び多臓器不全で曝露後 83 日目に死亡した。初期には平均吸収線量は 16~20GyEq と計算されたが、最近の計算では吸収皮膚線量は上腹部で 61.8Gy に達し最高であった。背側は腹部側の 1/8 と計算された。体全体における吸収線量分布は非常に不均一であった。大量輸液・輸血、末梢血幹細胞移植、培養皮膚細胞移植、骨髄へのサイトカイン投与等の治療に拘わらず死亡した

2002092591

Author : Ishigure Nobuhito (放射線医学総合研究所), Endo Akira, Yamaguchi Yasuhiro, Kawachi Kiyomitsu

Title: 東海村の JCO 臨界事故における露出過度患者に対する吸収線量の計算 (Calculation of the Absorbed Dose for the Overexposed Patients at the JCO Criticality Accident in Tokai-mura) (英語)

Source : Journal of Radiation Research (0449-3060) 42 巻 Suppl. PageS137-S148 (2001. 09)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : Sodium Radioisotopes (血液); ガンマ線; 中性子; 放射線測定; 放射線量; 放射線事故

医中誌フリーキーワード : 東海村

チェックタグ : ヒト

Abstract: 血液中 24Na の比放射能の測定結果により露出過度患者に対する線量を評価した。現在の方法は LAEA (国際原子力機関) 及び Oak Ridge National Laboratory の文書に殆ど基づいている。ANIS コードを用いて中性子エネルギースペクトルを得た。ICRP (国際放射線防護委員会) 発刊 74 の値を各臓器/単位中性子フルエンスにおける線量に対して適用した。γ線線量は間接的に、(a) 事故部位の周りの環境モニタリングの結果、(b) 臨界体積の関数或いは水素/235U の原子比として中性子及びγ線のカーマ比を与える IAEA 手引き内のグラフ、に基づいて間接的に評価された。評価された中性子線量は患者 A で 5.4Gy, 患者 B で 2.9Gy, 患者 C で 0.81Gy, γ線線量は各々 8.5 或いは 13Gy, 4.5 或いは 6.9Gy, 及び 1.3 或いは 2.0Gy, であった

2002045453

Author : 泉維昌 (茨城県立こども病院), 小池和俊, 中尾朋平, 土田昌宏

Title : JCO 事故後の東海村住民健康診断における小児の一般検査の解析

Source : 茨城県臨床医学雑誌 (0910-6782) 37 号 Page20-21 (2001. 09)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 小児; 診断サービス; 放射線事故; 健康診断

医中誌フリーキーワード : 東海村

チェックタグ : ヒト

2002092588

Author : Sasaki Masao S. (京都大学放射線生物研究センター), Hayata Isamu, Kamada Nanao, Kodama Yoshiaki, Kodama Seiji

Title : 東海村の JCO 臨界事故からの低レベル放射線に曝露された人における染色体異常 (Chromosome Aberration Analysis in Persons Exposed to Low-level Radiation from the JCO Criticality Accident in Tokai-mura) (英語)

Source : Journal of Radiation Research (0449-3060) 42 巻 Suppl. PageS107-S116 (2001. 09)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語：染色体異常；生物学的効果比；放射線障害；放射線量反応関係；放射線事故

医中誌フリーキーワード：東海村

チェックタグ：ヒト

Abstract：二動原体及び環状染色体の年齢調整頻度は基準放射線としての ^{60}Co γ -線に対する試験管内で確立した線量校正曲線と比較した場合、染色体的に評価された線量と身体的方法により評価した実証された線量との間で有意な相関が認められた。実証された線量に対する染色体線量の回帰係数、 1.47 ± 0.33 は、低線量における核分裂中性子の生物学的効果比は放射線防護標準に現在採用されているそれに比しかなり高い

2002092590

Author：Takeda Hiroshi (放射線医学総合研究所), Miyamoto Kiriko, Yukawa Masae, Nishimura Yoshikazu, Watanabe Yoshito, Kim Hee Sun, Fuma Shoichi, Kuroda Noriko, Kouno Fuyuki, Joshima Hisamasa, Hirama Toshiyasu, Akashi Makoto

Title：東海村のJCO臨界事故における患者3例の β -線放出体測定による中性子-線量評価の為のバイオアッセイ (Bioassay for Neutron-Dose Estimations of Three Patients in the JCO Criticality Accident in Tokai-mura by Measuring β -ray Emitters) (英語)

Source：Journal of Radiation Research (0449-3060) 42 巻 Suppl. Page S129-S135 (2001. 09)

論文種類：原著論文

シソーラス用語：Calcium Radioisotopes；リン放射性同位体；職業性曝露；バイオアッセイ；中性子；ベータ線；放射線測定；放射線量；放射線事故

医中誌フリーキーワード：東海村

チェックタグ：ヒト

Abstract：事故直後に毛髪及び尿を集めた所、十分な ^{32}P 放射能が高速中性子により毛髪に、熱中性子により尿に誘発されたことを示し、個人及び位置への曝露の重度が知られた。事故後82及び210日に死亡した患者2例の各種解剖部からの骨における ^{32}P 及び ^{45}Ca の測定から、誘導された β -線放出体放射能の分布は曝露瞬間の患者の位置及び体位を証明できることが示唆された

2002061734

Author：中野英樹 (産業医科大学 精神医), 副田秀二, 中村純

Title：東海村臨界事故に関連した適応障害の1例

Source：精神医学 (0488-1281) 43 巻 9 号 Page 1019-1021 (2001. 09)

論文種類：原著論文/症例報告

シソーラス用語：事故；ストレス性障害-心的外傷後；精神保健；適応障害

医中誌フリーキーワード：東海村

チェックタグ：ヒト；成人(19～44)；女

Abstract：32歳女。主訴は不安、恐怖、食思不振であった。症例における精神症状の誘因として、東海村臨海事故の報道から受けた衝撃と、なおかつその事故現場から10Km圏内に出された屋内退避勧告に自宅・職場ともに該当した事が主であったと考えられた。抑鬱気分と不安を伴う適応障害と診断し、恐怖を緩和する目的で、etizolamを処方し、感情のコントロールが徐々に可能となった。精神症状発症の契機が不可視的な状況であるという特徴があり、臆病という性格傾向に加えて、他事故の惨状の映像という報道内容を目にした事で放射線被曝への恐怖が相乗的に強まり、適応障害を来したと思われた

2002092592

Author：HayataIsamu(放射線医学総合研究所)、KandaReiko、MinamihisamatsuMasako、FurukawaAkira、SasakiMasao S.

Title：東海村のJCO臨界事故における重症曝露患者3例に対する細胞遺伝学的線量評価(Cytogenetical Dose Estimation for 3 Severely Exposed Patients in the JCO Criticality Accident in Tokai-mura)(英語)

Source：Journal of Radiation Research(0449-3060)42巻 Suppl. PageS149-S155(2001.09)

論文種類：原著論文

シソーラス用語：細胞遺伝学；職業性曝露；染色体異常；放射線遺伝学；放射線量；環状染色体；放射線事故

医中誌フリーキーワード：東海村；染色体検査

チェックタグ：ヒト

Abstract：重症曝露患者3例で検討した。リンパ球数は劇的に減少しており、2例では白血球内のリンパ球数が非常に低く、培養不能で、通常法では細胞を収穫できなかった。高収率染色体調整法により細胞を培養し、収穫でき、それから空気乾燥染色体スライドを作製した。PCC-輪(人工的に誘発した未熟な濃縮環状染色体)は短時間で得られた。PCC-輪法による評価線量は通常の二動原体及び環状染色体(Dic+R)法によるそれ等とかなり良く一致した。生物学的評価線量は物理学的方法により評価されるそれと比較できた

2002092589

Author：MuramatsuYasuyuki(放射線医学総合研究所)、NodaYutaka、YoneharaHidenori、IshigureNobuhito、YoshidaSatoshi、YukawaMasae、TagamiKeiko、Ban-naiTadaaki、UchidaShigeo、HiramaToshiyasu、AkashiMakoto、NakamuraYuji

Title：個人の中性子フルエンスを評価する為、東海村のJCO臨界事故の高度曝露作業員における中性子により産生された放射性核種(RN)の測定(Determination of Radionuclides Produced by Neutrons in Heavily Exposed Workers of the JCO Criticality Accident in Tokai-mura for Estimating an Individual's Neutron Fluence)(英語)

Source : Journal of Radiation Research (0449-3060) 42 巻 Suppl. PageS117-S128 (2001. 09)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : 臭素放射性同位体; Potassium Radioisotopes; 放射性同位体; Sodium Radioisotopes; 職業性曝露; 中性子; 放射線測定; 放射線事故

医中誌フリーキーワード : 東海村

チェックタグ : ヒト

Abstract : 高度曝露作業員 3 例の血液, 尿, 吐物及び毛髪で放射化産物 ^{24}Na , ^{42}K 及び ^{82}Br が認められた。生物素材で見られた最高放射能の RN は ^{24}Na で, 事故時に 3 例から得た血液試料で各々 169, 92 及び 23Bq/ml であった。同じ材料で安定 Na 濃度を測定した。3 例で得られた ^{24}Na の比放射能は 8.2×10^4 , 4.3×10^4 及び $1.2 \times 10^4 \text{Bq}^{24}\text{Na}/\text{g}^{23}\text{Na}$ であった。この値に基づいて得た中性子フルエンスは各々 5.7×10^{11} , 3.0×10^{11} 及び $0.85 \times 10^{11} \text{cm}^{-2}$ であった

2002092587

Author : MomoseTakumaro (Tokai Works, Japan Nuclear Cycle Development Institute), TsujimuraNorio, TasakiTakashi, KanaiKatsuta, KuriharaOsamu, HayashiNaomi, ShinoharaKunihiko

Title : 東海村の JCO 臨界事故における人体内 ^{24}Na 放射能に基づいた線量評価 (Dose Evaluation Based on ^{24}Na Activity in the Human Body at the JCO Criticality Accident in Tokai-mura) (英語)

Source : Journal of Radiation Research (0449-3060) 42 巻 Suppl. PageS95-S105 (2001. 09)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : Sodium Radioisotopes; 放射線測定; 放射線量; 人体; 放射線事故

医中誌フリーキーワード : 東海村

チェックタグ : ヒト

Abstract : 人体内最大 ^{24}Na 放射能は 7.7kBq ($83 \text{Bq} (^{24}\text{Na})/\text{g} (^{23}\text{Na})$) で, 関連実行線量当量は 47mSv であった

2002115883

Author : 白石久二雄 (放射線医学総合研究所), 岩崎みどり, 宮澤忠蔵, 松本雅紀, 米原英典

Title : 歯を用いた ESR 法による JCO 事故作業員の被ばく線量推定

Source : 日本放射線影響学会 44 回大会講演要旨集 Page80 (2001. 10)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : エナメル質; 電子スピン共鳴; 歯; 放射線測定; 放射線量; 放射線事故; 放射線被曝

医中誌フリーキーワード : 東海村; 労働者

チェックタグ：ヒト

2002115869

Author：徳山憲子(放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院)

Title：【放射線看護 今とこれから】 緊急被ばく医療の看護 臨界事故患者の看護を体験して

Source：Quality Nursing(1340-9875)7巻12号 Page1057-1069(2001.12)

論文種類：解説/特集

シソーラス用語：事故；看護ケア；放射線事故；保健医療サービス提供；放射線被曝

チェックタグ：ヒト；特集

2002186440

Author：前川和彦(原子力安全研究協放射線災害医療研)，衣笠達也

Title：東海村臨界事故の反省

Source：日本集団災害医学会誌(1345-7047)6巻3号 Page252(2002.01)

論文種類：会議録

シソーラス用語：救急医療サービス；災害対策；事故；放射線医学；放射線事故；放射線被曝

医中誌フリーキーワード：東海村

チェックタグ：ヒト

2002257116

Author：中川恵一(東京大学 放射線)，多湖正夫，小塚拓洋，青木幸昌，大友邦，佐々木康人

Title：東海村臨界事故における重度被曝患者の臨床病理学的検討

Source：日本医学放射線学会雑誌(0048-0428)62巻3号 PageS308-S309(2002.03)

論文種類：会議録

シソーラス用語：事故；臨床病理学；放射線事故；放射線被曝

医中誌フリーキーワード：東海村

チェックタグ：ヒト

2002257117

Author：秋坂真史(茨城大学 教育)，中村朋子，佐竹毅

Title：東海村放射能事故における学校の対応と学校保健の役割：(第1報) 養護教諭からみた事故前の学校の対応及び事故当日の保健機能上の問題点

Source：学校保健研究(0386-9598)44巻2号 Page106-116(2002.06)

論文種類：原著論文/特集

シソーラス用語：アンケート；学校保健；安全管理；放射線事故；放射線被曝

医中誌フリーキーワード：東海村；養護教諭

チェックタグ：特集

Abstract: 茨城県東海村で起きた放射能臨界事故に関し、その地域と周辺7市町村の養護教諭に質問紙を郵送し、事故の対応の実態調査を行い、学校保健の立場から、危機管理と安全教育のあり方を考察した。その結果、放射能事故を想定した準備や対策、事故以前からの放射能測定の定期的測定、事故前の児童生徒への安全教育が何もなかったとの回答が96.5%を占めた。事故前の事故対策の有無については、学校迄の距離別・校種別の全てにおいて有意差は認められなかった。事故直後の項目で、「精神的不安を抱えている児童生徒」に、唯一、有意差が認められた。子供を巻き込む恐れのある事件や事故等に対する学校側の危機管理や、安全教育が考慮されるべきである

2003009992

Author：AkisakaMasafumi(茨城大学 教育), NakamuraTomoko

Title：放射能事故後の学童の症状(Symptoms of School Children after the Radiation Accident)(英語)

Source：教育医学(0285-0990)48巻1号 Page120-121(2002.07)

論文種類：会議録

シソーラス用語：徴候と症状；小児；事故；放射線事故；アンケート；学校看護；不安

医中誌フリーキーワード：学童；放射能汚染；東海村

チェックタグ：ヒト；小児(6~12)

2003038044

Author: 簗下成子(川村短期大学 生活学科), 井口藤子, 西表美智代, 土井真知, 安藤久美子, 小西聖子, 岡田幸之, 佐藤親次

Title：東海村臨界事故後における学生の精神健康の回復

Source：日本社会精神医学会雑誌(0919-1372)11巻1号 Page162(2002.07)

論文種類：会議録

シソーラス用語：精神保健；学生；放射線事故；核分裂；ストレス性障害-心的外傷後；学校保健；不安；回復期

医中誌フリーキーワード：東海村；臨界

チェックタグ：ヒト

2003054459

Author：NagayamaHitomi(東京大学医科学研究所), OoiJun, TomonariAkira, IsekiTohru,

TojoArinobu, TaniKenzaburo, TakahashiTsuneo A., YamashitaNaohide, AsanoShigetaka
Title: JCO 核施設でのアクシデントの犠牲者における致死的中性子照射後の重症免疫不全
(Severe Immune Dysfunction after Lethal Neutron Irradiation in a JCO Nuclear Facility
Accident Victim) (英語)

Source : International Journal of Hematology (0925-5710) 76 巻 2 号
Page157-164 (2002. 08)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : 中性子; 免疫不全症候群; 臍帯血移植; 放射線障害; 放射線被曝; 放射線事故

チェックタグ : ヒト

Abstract : 日本の東海村にある核処理施設で 8~10GyEq 混合中性子及びγ線を浴びた犠牲者に, HLA-DRB1 ミスマッチの血縁でない臍帯血移植 (CBT) を行った. 移植者/被移植者の混合キメラ現象が得られ, その後, 免疫抑制剤の投与終了に一致して急速な自己造血回復が起こり, in vitro の検査にて自己免疫系の回復が示され, ナイーブ T 細胞分画及びヘルパー T 細胞サブタイプ 1 分画は増加したが, T 細胞の有系分裂反応や同種混合白血球反応は高度に抑制されていた. 内因性免疫グロブリン産生もまたアクシデント後 120 日迄抑制された. 内皮移植は成功したが, 感染の合併, その後の急性呼吸窮迫症候群にて 210 日後に死亡した. 以上より, 8-10Gy 以上の中性子はヒト免疫系の完全障害を起こし, 例え自己造血機能が回復しても死に至る可能性のあることが示唆された

2003164541

Author : 池内実(広島大学原爆放射能医学研究所), 山脇成人, 中根允文, 松浦正明, 吉田成人, 竹崎嘉彦, タマラ・ジュヌソウア, 笠置恵子, 末永昌美, 早川式彦

Title : 東海村中性子線被曝事故における事故後ストレス障害調査研究

Source : 長崎医学会雑誌 (0369-3228) 77 巻特集 Page280-283 (2002. 09)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : 放射線事故; 放射線被曝; 中性子; 調査研究法; 心理的ストレス; アンケート; 年齢因子; 性因子(疫学)

医中誌フリーキーワード : 東海村

チェックタグ : ヒト; 男; 女

Abstract : 茨城県東海村の JOC の臨界事故の際に屋内待避させられた住民の事故後, 1 年後, 1 年半後の心理調査を行い, 事故後のストレス障害の程度とその実態把握を行った. 対象を無作為に抽出する際, 住所や電話番号が記載されているコンピュータソフトを用い, 電話の持ち主の完全な氏名の把握ができ, 不特定な地域の対象者の把握が可能となった. 郵送質問紙の回収率の低さを補う為に回収には直接各家庭を訪問したが拒否者が非常に多かった. 種々の理由から協力が得られず, 世帯単位では約 40%強の回収率に留まった為, 本調査

による臨界事故のPTDS全体を把握することはできなかった。以上より代表値とはいえないが約20～30%が精神的に不安な症状を有していることがわかった。GHQ60項目を用いて調査を行ったが、GHQ12はスクリーニング用としてはかなり大きな範囲の疑わしい人も選んでくる可能性があることが明らかになった。60, 30, 28, 20項目場合は、ほぼ同様なスクリーニング率であった。

2003147058

Author : 秋坂真史(茨城大学 教育保健 講座), 佐竹毅, 中村朋子

Title: 東海村放射能事故における学校の対応と学校保健の役割(第2報) 事故後の学校及び養護教諭の対応と役割

Source : 学校保健研究(0386-9598)44巻5号 Page416-425(2002.12)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : 学校保健; アンケート; 放射線被曝; 放射線事故

医中誌フリーキーワード : 養護教諭; 東海村

チェックタグ : ヒト

Abstract: 茨城県東海村で20世紀末に起きた放射能臨界事故後の児童生徒や保護者の反応と学校保健の対応や養護教諭に期待された機能や役割について調査した。全体で20%の児童生徒が、養護教諭へ事故や健康被害に関する質問や相談をもちかけ、とりわけ高校生では半数以上の者が養護教諭に質問や相談をしていた。

5. チェルノブイリ原発事故

1995199162

Author : 久住静代(放射線影響研究所), 山口慎也, 井上良隆, 他

Title : チェルノブイリ原発事故による広域放射能被曝の心理的影響 国際シンポジウム報告

Source : 長崎医学会雑誌(0369-3228)69 巻特集 Page325-328(1994.12)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : 精神保健; 放射能

1999171556

Author : 今村展隆(広島大学原爆放射能医学研究所), ZhavoronokS.V., KlymenkoV.I.

Title : チェルノブイリ原子力発電所事故の人体に及ぼす影響 ベラルーシ及びウクライナにおける血液腫瘍の解析

Source : 広島医学(0367-5904)52 巻1号 Page101-105(1999.01)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : 血液; 腫瘍-放射線誘発; 発電所; 人体; 造血器腫瘍; 放射線事故; 放射線被曝

チェックタグ : ヒト

Abstract:非汚染地区であるピテブスク(ベラルーシ共和国)においてリクイデーター(除染処理作業員)に高率の白血病発症を認めた.多数のリクイデーターが居住しているウクライナ共和国においても同様であった.更にドネエプロペトロフスク,ドネツク及びチャーコフ州における白血病発症率は1986年のリクイデーター群において相対リスク3.02と非被曝者群と比較して高率であり,一方1987年のリクイデーター群では相対リスク1.05と低値であった.この差は白血病が線量依存性に発症している可能性を強く示唆している.悪性リンパ腫発症においても同様であり,1986年のリクイデーター群において相対リスク1.35とやや高率で,1987年のリクイデーター群では0.75と低率で白血病発症と同様に線量依存性である可能性を示唆するものと考えた.更に検討し得た2例の急性骨髄性白血病にp53癌抑制遺伝子異常を認めた.放射線被曝によりDNAの突然変異が招来されたものと考えた

1999165086

Author : 武市宣雄(広島甲状腺武市クリニック), 早川式彦, 土肥雪彦, 江崎治夫, 佐藤幸男

Title : チェルノブイリ原発事故と小児甲状腺癌,ウクライナの疫学的調査,1998

Source : 広島医学(0367-5904)52 巻1号 Page97-100(1999.01)

論文種類：原著論文

シソーラス用語：疫学；甲状腺腫瘍(悪性, 疫学)；小児；放射線事故；放射線被曝(疫学)

医中誌フリーキーワード：小児癌；ウクライナ

チェックタグ：ヒト

Abstract：1) これ迄の調査結果では、ウクライナの小児甲状腺癌発生率は、事故の年に小児人口 10 万人当り 0.07 だったものが、4 年後の 1990 年に 3.3 倍の 0.23 に、そして 1992 年には最高値の 0.43 (6.1 倍) に達した。2) ウクライナでは I-131 汚染度の高い州ほど事故後の小児甲状腺癌の発生数、発生率が高い傾向がみられた。3) 原発事故現場からドニエプル川沿いに下流にいくに従い、これに沿う州の小児甲状腺癌の発生数、発生率は低下する傾向がみられた。4) ウクライナでは小児期及び青年期に被災した者に発生した甲状腺癌数は、被災後経年的に増加しており、1995 年になっても尚、増加傾向を示していた。5) その増加率を前年比でみた時、その増加のピークは小児で 3-6 年後、青年で 4-9 年後であり、最短潜伏期間は小児で 3-4 年、青年で 5-6 年と推察された。6) 以上は、チェルノブイリでの小児甲状腺癌の増加は、原発事故の影響 (I-131) によるものであることを示唆する

1999177612

Author：西脇安()

Title：チェルノブイリ原子炉事故における事故原因、被ばく線量、影響の範囲、因果関係等の推定における不確定さ(ファジネス)

Source：広島医学(0367-5904)52 巻 1 号 Page86-92(1999.01)

論文種類：解説

シソーラス用語：放射線量；因果律；放射線事故；放射線被曝

チェックタグ：ヒト

2000208570

Author: Yoshimoto Yasuhiko (放射線医学総合研究所), Yoshinaga Shinji, Gorski Anton. I., Maksioutov Marat. A., Ivanov Viktor. K.

Title: Chernobyl 事故と大衆の甲状腺癌危険率(1991-1996) Bryansk 州 (Russia) で観察されたデータの協力共同分析(英語)

Source: Journal of Radiation Research(0449-3060)40 巻 4 号 Page370(1999.12)

論文種類：会議録

シソーラス用語：甲状腺腫瘍(悪性)；腫瘍-放射線誘発；リスク；放射線事故

医中誌フリーキーワード：ロシア連邦

チェックタグ：ヒト

2000278486

Author : 柴田義貞(長崎大学医学部附属原爆後障害医療研究施設)

Title : 【放射線と学校保健】 放射線の人体影響:原爆被爆とチェルノブイリ事故

Source : 学校保健研究(0386-9598)42 巻1号 Page15-20(2000.04)

論文種類 : 解説/特集

シソーラス用語 : 放射線障害; 放射線事故; 放射線被曝

医中誌フリーキーワード : 原爆被爆者

チェックタグ : ヒト; 特集

2001101928

Author : TronkoM.D.(ウクライナ), BogdanovaT.I., EpshteinO.V., OliynykV.A., TereshchenkoV.P., LikhtarevI.A., Kayrol.A., BeebeG., BouvilleA., BrillaB., 他

Title : チェルノブイリ事故後の甲状腺集団検診(英語)

Source : Endocrine Journal(0918-8959)47 巻 Suppl. Page124(2000.08)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 甲状腺疾患(診断); 集団検診; 診断サービス; 放射線事故; 放射線被曝

チェックタグ : ヒト

2001116908

Author : ZvonovaI.A.(ロシア)

Title : チェルノブイリ事故後のロシア人に対する放射性ヨードの影響 甲状腺線量の再検討, 甲状腺癌死亡率及び危険評価(英語)

Source : Endocrine Journal(0918-8959)47 巻 Suppl. Page129(2000.08)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : ヨウ素放射性同位体(毒性・副作用); 甲状腺; 甲状腺腫瘍(悪性); 死亡率; 放射線量; リスク; 放射線事故; 外国人; 放射線被曝

医中誌フリーキーワード : ロシア連邦

チェックタグ : ヒト

2001145116

Author : 横田賢一(長崎大学医学部附属原爆後障害医療研究施設), 高村昇, 山下俊一, 柴田義貞, 三根真理子, 近藤久義, 本田純久, 朝長万左男

Title : チェルノブイリ医療支援のための通信基盤に関する報告(Internet infrastructure for Telemedicine system between Belarus and Japan)

Source : 長崎医学会雑誌(0369-3228)75 巻特集 Page199-201(2000.09)

論文種類：原著論文

シソーラス用語：国際協力；保健医療サービス；遠隔通信；インターネット；遠隔診療；放射線事故；放射線被曝

医中誌フリーキーワード：ベラルーシ；Medical Internet Exchange

Abstract:ベラルーシのインターネットの現状について調べた。インターネットによる医療支援システムの構築には電話網の整備および国外接続点の回線の高速化を含むインターネット網の増強が必要であると考えられた

2001125951

Author:BeliczaM. (クロアチア), Cupich., KruslinB., SimunovicD., LenicekT., GladicV., LechpammerM., KusicZ.

Title:チェルノブイリ事故(1986)およびクロアチア戦争の激化(1991-95)の甲状腺および乳癌の疫学に及ぼした影響(英語)

Source:Pathology International(1320-5463)50巻 Suppl. PageA78(2000.10)

論文種類：会議録

シソーラス用語：疫学；甲状腺腫瘍(悪性)；戦争；乳房腫瘍(悪性)；放射線事故；放射線被曝

医中誌フリーキーワード：クロアチア

チェックタグ：ヒト

2001125934

Author:原田種一(川崎医療短期大学), 物部真奈美

Title:第22回チェルノブイリ事故被爆者甲状腺検診記録

Source:内分泌外科(0914-9953)17巻4号 Page305-310(2000.12)

論文種類：原著論文

シソーラス用語：記録；甲状腺疾患；甲状腺腫(診断)；事故；診断サービス；放射線事故；放射線被曝

チェックタグ：ヒト

Abstract:チェルノブイリ原発事故時,チェルノブイリ近傍にあり発電所勤務者の町であったプリピャチの住民で,事故後避難した人たち,汚染地と指定された区域の住民,ならびに事故前よりキエフ住民であった1~74歳の191名を対象として,標題検診を施行した。弥漫性甲状腺腫を128例,結節性甲状腺腫6例に触知した。甲状腺機能低下を4例,不顕性甲状腺機能低下を15例,甲状腺機能亢進を4例に認めた。抗サイログロブリン抗体もしくは抗マイクログローム抗体の双方,或いはどちらか一方が陽性であった症例は32例であった。抗体陽性と尿中ヨード排泄量との間に相関は認められなかった

2001184370

Author : 小池健一(信州大学 小児科), 小宮山淳, 神谷さだ子, 鎌田實

Title : チェルノブイリ原発事故後の小児白血病患者の疫学調査

Source : 日本小児科学会雑誌(0001-6543)105 巻 3 号 Page359(2001.03)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 疫学; 小児科学; 白血病(疫学); 白血病-急性リンパ性(疫学); 白血病-慢性骨髄性(疫学); 放射線事故; 放射線被曝

チェックタグ : ヒト

2002036914

Author : ShamarinVladimir(ロシア), MartinchikEkaterina

Title: 予防における保健従事者の役割 チェルノブイリ原子力発電所事故の清掃労働者にみられた心不全 危険性の評価(The Role of Health Professionals in Prevention: HEART FAILURE AMONG CLEANUP WORKERS OF THE CHERNOBYL ATOMIC ENERGY STATION ACCIDENT: ESTIMATION OF RISKS)(英語)

Source : 日本循環器病予防学会誌(1346-6267)36 巻 Suppl. Page110(2001.05)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 心不全-うっ血性; 発電所; 医療周辺従事者; 放射線障害; リスク; 放射線事故; 放射線被曝

医中誌フリーキーワード : 労働者

チェックタグ : ヒト

2001220069

Author : YamadaK.(日本医科大学 第2外科), ShimizuK., KitagawaW., AkasuH., TanakaS.

Title : チェルノブイリ原子炉事故後のベラルーシにおける甲状腺癌集団スクリーニング (THE MASS SCREENING FOR THYROID CANCER IN BELARUS SUBSEQUENT TO THE CHERNOBYL REACTOR DISASTER)(英語)

Source : 日本外科系連合学会誌(0385-7883)26 巻 3 号 Page597(2001.05)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 甲状腺腫瘍(悪性, 診断); 集団検診; 放射線事故; 放射線被曝

医中誌フリーキーワード : ベラルーシ

チェックタグ : ヒト

2002008458

Author : 盛直久(岩手医科大学 麻酔科)

Title : 麻酔科医ができる海外医療援助活動 チェルノブイリ原発事故の場合

Source : 麻酔(0021-4892)50 巻 8 号 Page931 (2001.08)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 国際協力; 麻酔学; 放射線事故

チェックタグ : ヒト

2002078910

Author : 片桐誠(永寿総合病院)

Title : チェルノブイリ甲状腺癌検診 5 年間の成績

Source : 永寿総合病院紀要(0915-5422)13 巻 Page36-40 (2001.09)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : 甲状腺腫瘍(診断, 病因); 集団検診; 放射線; 診断サービス; 放射線事故; 放射線被曝

医中誌フリーキーワード : ベラルーシ

チェックタグ : ヒト

Abstract : 1997 年よりベラルーシ共和国のストーリン地区で小児を中心としたチェルノブイリ原発 4 号炉事故による甲状腺癌検診を行ってきたが, 2001 年 6 月の検診で 5 年目を迎え, 通算 7 回の検診を行ったので検診結果をまとめ, 今後の問題点などを検討し報告した. のべ 491 人を検診した. 被曝時に小児であった 30 歳未満の受診者は第 3 回検診の 50 名をピークに次第に減少し, 第 9 回検診では僅か 13 名であった. 甲状腺腫大を触知したものは 491 例中 329 例で, 頸部リンパ節を触知したものは 16 例であった. 又, 甲状腺手術を受けたことのある術後患者は 60 例に認められた. 甲状腺癌及び甲状腺癌疑いは合わせて 22 例であった. 5 年目の第 9 回検診では若年の受診者は少なく, 殆どが中高年の既に良性結節の診断のついている再検査が多かった

2002056357

Author : 高村昇(長崎大学医学部附属原爆後障害医療研究施設), 柴田義貞, 芦沢潔人, 難波裕幸, 長瀧重信, 山下俊一, MasyakinVladimir, PanasyukGalina, VorobeiVladimir

Title : チェルノブイリ原発事故から 15 年 小児甲状腺がんの実態と新事実

Source : 日本内分泌学会雑誌(0029-0661)77 巻 2 号 Page246 (2001.09)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 甲状腺腫瘍(疫学, 悪性); 小児; 放射線事故; 放射線被曝

チェックタグ : ヒト

2002186438

Author : 天野光(日本原子力研究所東海研究所)

Title : 【原研におけるチェルノブイリ研究協力】 チェルノブイリ事故炉周辺環境における長半減期放射性核種の分布と挙動

Source : 保健物理 (0367-6110) 36 巻 4 号 Page314-321 (2001. 12)

論文種類 : 原著論文/特集

シソーラス用語 : 放射性同位体; 環境汚染; 半減期; 放射線; 放射線量; 放射線事故; 放射線被曝

チェックタグ : 特集

Abstract : チェルノブイリ事故炉周辺の住民排除区域 (30km 圏) 内の自然環境において Cs-137, Sr-90, 超ウラン元素等の長半減期放射性核種の分布と挙動を調べた. 1) 土壤燃料微粒子 (HP) がサイズ変化し 10 年後は数ミクロン規模となった. 2) 未攪乱土壤中の放射能の深さ分布と土質による違い. 3) 土壤中存在形態が核種により異なる. 4) 深さ方向の移行成分の存在形態. 5) 大気中濃度の将来予測, 大気中核種の粒径分布測定, 降水量の経年変化. 6) HP を含んだ土壤からの小松菜, 人参等の移行係数. 7) 土壤から河川への溶存形態での移行に関する高分子有機コロイドの役割. 8) 河川水中 Cs-137, 超ウラン元素の移行量は河川水中懸濁態の量に依存. Sr-90 は 90%以上が溶存態. 9) 河川や湖沼水系での核種のみかけの分配比 (溶存態濃度 Bq/g の比). 10) 超ウラン元素は腐敗植物と結合し河川に溶存. 以上の成果が得られた

2002169444

Author : 坂本隆一 (日本原子力研究所東海研究所), 斎藤公明, 堤正博, 長岡鋭

Title : 【原研におけるチェルノブイリ研究協力】 原子力事故後の環境中外部被ばく線量の測定・評価に関する研究

Source : 保健物理 (0367-6110) 36 巻 4 号 Page297-307 (2001. 12)

論文種類 : 原著論文/特集

シソーラス用語 : 核エネルギー; 環境衛生; 環境汚染; 放射線; 放射線量; 放射線事故; 放射線被曝

チェックタグ : 特集

Abstract : チェルノブイリ原子力事故後の環境中外部被ばく線量のサーベイ方法の開発, 住民に対する外部被ばく線量を推定する方法の検証, γ 線線量評価用基本データの整備, 汚染環境場の特性解析に関する研究を行った. 広域サーベイ調査で高汚染地域に適した移動サーベイシステムを開発し, 汚染マップを作成した. 住民の外部被ばく線量の評価では簡易な方法でも評価でき, 住居の遮断効果を正確に評価しこれと移動サーベイシステムにより得られた線量率分布データを用いることで, より簡易に外部被ばく線量評価が可能となることが期待された. γ 線線量評価用基本データの整備では, 様々な分布線源に対する空気吸収線量換算係数を求めることが可能となり, 核種別の遮断係数の算出が可能となった

2002186437

Author : 本間俊充(日本原子力研究所東海研究所), 高橋知之, 外川織彦

Title : 【原研におけるチェルノブイリ研究協力】 事故影響評価モデルの検証

Source : 保健物理(0367-6110)36 巻 4 号 Page308-313(2001. 12)

論文種類 : 解説/特集

シソーラス用語 : 環境汚染; 放射線量; 放射線事故; 放射線被曝

チェックタグ : 特集

2002150006

Author : 伊東正博(国立病院長崎医療センター), 山下俊一, 関根一郎

Title : チェルノブイリ甲状腺癌組織バンクの国際共同運用に関する報告

Source : 日本病理学会会誌(0300-9181)91 巻 1 号 Page176(2002. 03)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 甲状腺腫瘍(悪性); 組織銀行; 放射線事故; 放射線被曝

チェックタグ : ヒト

2002281196

Author : 今村展隆(広島大学原爆放射能医学研究所), KlimentkoSergiy V., KlimentkoViktor I.

Title:チェルノブイリ原子力発電所事故の人体に及ぼす影響(第2報) 急性放射線障害を惹起したリクイデーターに発症した血液疾患

Source : 広島医学(0367-5904)55 巻 3 号 Page221-224(2002. 03)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : 急性疾患; 血液疾患; 放射線; 放射線障害; 放射線量; 罹患率; 放射線事故; 放射線被曝

医中誌フリーキーワード : ウクライナ; ロシア連邦

チェックタグ : ヒト

Abstract : チェルノブイリ事故発生時に急性放射線障害を惹起したキエフ在住の186名を対象として, 事故が人体に及ぼした影響を検討した. 血液腫瘍の発症も他の障害と同様に被爆線量に依存して発症率が高くなることが示唆された. 又, 被爆者の多くは精神的な不定愁訴を持ち, 就労不能であり, 精神医学的観察も必要である

2002281197

Author:今村展隆(広島大学原爆放射能医学研究所), GluzmanDanii I F., AbramenkoIrina V.

Title:チェルノブイリ原子力発電所事故の人体に及ぼす影響(第3報) リクイデーターに発症している白血病, 悪性リンパ腫の解析

Source : 広島医学(0367-5904)55 巻 3 号 Page225-228 (2002. 03)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : Cesium Radioisotopes; 白血病; 放射線; 放射線量; 免疫組織化学; リンパ腫(悪性); 放射線事故; 放射線被曝

医中誌フリーキーワード : ウクライナ; ロシア連邦

チェックタグ : ヒト

Abstract:1995 年 5 月-2002 年 3 月迄に診断した 5483 名のうちリクイデーターに発症した血液疾患患者数は144名で,血液悪性腫瘍患者数は90名であったが,今後は更に増加するものと考えられる

2002268454

Author : 角順子(長崎大学医学部附属原爆後障害医療研究施設), SaenkoVladimir, RognouvitchTatiana, 吉田由紀, 高村昇, 山下俊一

Title : チェルノブイリ甲状腺腫瘍バンクにおける遺伝子抽出法の比較検討

Source : 広島医学(0367-5904)55 巻 3 号 Page204-205 (2002. 03)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : DNA; RNA; 遺伝学的技法; 遺伝子ライブラリー; 血液; 甲状腺腫瘍(悪性); 放射線; ファクトデータベース; 放射線事故; 放射線被曝

医中誌フリーキーワード : 患者情報

チェックタグ : ヒト

Abstract:癌及び正常な甲状腺組織からの DNA の抽出方法 2 種類について比較し,いずれの方法が優れているのかを検討し,現行の方法よりも改良型の方法が優れていることを示した

2003035114

Author : 大畑勉(原子力安全技術センター)

Title : チェルノブイリ事故から 16 年を経て 放射性エアロゾルからみたチェルノブイリ事故

Source : 空気清浄(0023-5032)40 巻 2 号 Page104-109 (2002. 07)

論文種類 : 解説

シソーラス用語 : エアゾール; 放射線事故; 放射性汚染物質; 発電所; Cesium Radioisotopes; ヨウ素放射性同位体

2003044885

Author : 槇島敏治(日本赤十字社医療センター 国際医療救援部)

Title : チェルノブイリ人道支援・復興事業の評価活動

Source : 日赤医学 (0387-1215) 54 巻 1 号 Page66 (2002. 08)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 災害対策; 国際協力; 放射線モニタリング; 放射線事故

2003076733

Author : 伊東正博 (国立病院長崎医療センター 病理), 山下俊一, 長瀧重信, AbrosimovS, BogdanovaT, LiVolsiV, SosaiJ, SidrovY, ThomasG, WilliamsED

Title : チェルノブイリ原発事故後甲状腺がん組織バンク (NISCTB) の活動と利用状況

Source : 日本内分泌学会雑誌 (0029-0661) 78 巻 2 号 Page252 (2002. 09)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 放射線事故; 放射線被曝; 組織銀行; 甲状腺腫瘍 (病理学); 病理学
チェックタグ : ヒト

2003179197

Author : 伊東正博 (国立病院長崎医療センター 病理), 山下俊一, AbroshimovS, BogdanovaT, LiVolsiV, RosaiJ, SidrovY, ThomasG, WilliamsED

Title : チェルノブイリ原発事故後甲状腺がん組織バンク (NISCTB) の活動状況

Source : 長崎医学会雑誌 (0369-3228) 77 巻特集 Page289-291 (2002. 09)

論文種類 : 解説

シソーラス用語 : 放射線事故; 放射線被曝; 組織銀行; 甲状腺腫瘍 (悪性); 研究機関; 分類; 年齢因子; 検体取り扱い法; 診断
医中誌フリーキーワード : 会議; ロシア連邦; ウクライナ; ベラルーシ; チェルノブイリ
チェックタグ : ヒト

2003179196

Author : 柴田義貞 (長崎大学医学部附属原爆後障害医療研究施設 放射線障害解析 部門 放射線疫学 研究分野), MasyakinVladimir B., PanasyukGalina D., 高村昇, 山下俊一

Title : チェルノブイリ周辺の小児甲状腺疾患

Source : 長崎医学会雑誌 (0369-3228) 77 巻特集 Page284-288 (2002. 09)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : 甲状腺疾患 (診断, 病因); 小児; 放射線被曝; 放射線事故; 有病率; 年齢因子; 超音波診断; 細胞診; 甲状腺腫瘍 (悪性, 診断, 病因); 甲状腺結節 (診断, 病因)
医中誌フリーキーワード : 穿刺吸引細胞診; ベラルーシ; チェルノブイリ
チェックタグ : ヒト; 小児 (6~12); 青年期 (13~18); 男; 女

Abstract : 小児甲状腺癌激増の原因を明らかにする為, チェルノブイリ原発事故前後に周辺で生まれた子供の甲状腺疾患有病状況を調査した. 1983 年から事故日 1986 年 4 月 26 日ま